



廃油せっけんやゴキブリだんごなど、環境に優しいものを作って販売しています

## 「ほっとサロン」完成

障害者小規模作業所「ほっとサロン」が保健福祉センター内に完成し、4月14日に開所式がおこなわれました。この作業所は大山町、中山町・名和町の2つの精神障害者家族会が新たに「ほっとサロン家族会」となり、運営にあたることになります。定員は15人。知的障害・精神障害のある方の通所作業所として、廃油せっけんや農作物作りなどをおこないます。

## きれいな名和町を

4月17日に、名和スポーツランドとその周辺で、西山建設の社員のみなさんが、清掃ボランティア活動をおこないました。

同社では、5年前から年2回、定期的に、公共施設の清掃奉仕を実施しています。

この日は20人が参加。側溝や植え込みの中のゴミ等を拾い集めていました。参加したみなさんは、「ここは、町外の人にも利用する施設。きれいな名和町を実感してほしい」と話していました。



西山建設のほかにも、町内各所でたくさんの企業・団体が清掃活動をおこなっています

清掃奉仕

## おいしい梨が実りますように

梨の花が満開になった4月12日、光徳小学校の3年生が、梨の交配作業の体験学習をおこないました。

この日は園主の徳永健さん(倉谷)と普及所の三谷喜美さんから説明を受けた後、花粉を分けてもらい、筆を使って白い梨の花の雌しべに一つひとつ丁寧に授粉していきました。

この事業に取り組んでいる名和小・光徳小の児童たちは秋の収穫を楽しみに、これから摘果、袋かけなどの作業もおこなっていきます。



梨体験学習支援は、県が取り組んでいる二十世紀梨再生促進事業の一環として実施しています

交配作業にチャレンジ



遺族の高齢化がすすみ、参列者は年ごとに少なくなっています

## 戦後59年 平和への祈り

日露戦争以降の戦没者をまつる国魂神社(名和神社本殿に合祀)で、4月13日、戦没者慰霊祭がおこなわれました。

国魂神社には、旧西伯郡出身の戦没者が祀られており、慰霊祭には遺族会を中心に、来賓や関係者などが参列。日本の平和と発展のために犠牲になった英霊を偲び、国の隆昌と世界平和への誓いを新たにしました。



消火器も、いざというときに備えて実際に使ってみることが大切です

## 備えあれば憂いなし

4月11日に、新坪田部落で消防訓練がおこなわれました。

この日は約50人が参加。大山消防署中山出張所の指導のもと、消火栓と消火器の使い方を実習しました。その後、区内に14か所ある消火栓と用具の点検も実施。

参加者は、「これで火災の時も、落ち着いて対応できそうだ」と話していました。

## どれも力作ばかり

4月9日から19日まで、公民館展示室で油絵展が開かれました。

これは倉谷にお住まいの山内信さんの近作を展示したものです。

作品はどれも深い色づかいで迫力があり、訪れた人は、じっくりと見入っていました。



どの作品も、見ていると絵の中に引き込まれそうなほどの迫力があります

山内信油絵展

## 生活に花をそえる

4月6日、下大山の美甘和幸さんを講師に迎え、「花づくり講座」を公民館で開きました。

この日は、種まきを実践し、朝顔、金魚草、百日草の種をそれぞれまきました。

次回の講座ではこの日使った教材でポットへの植えかえをするため、受講者のみなさんは、熱心に学習していました。



「きれいな花が咲くように...」愛情を込めて種まきをしました

花づくり講座